

先日、鉄道総研正門の向かい側にある、国分寺市新幹線資料館がリニューアルされました。従来であれば、このような機会には、大規模なセレモニーが開催されるのが当たり前とと思っていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、最小限のお披露目会となったようです。このように、これまで当たり前と思っていたことが、当たり前ではなくなった事象が、皆様の身の回りでもたくさんあるのではないのでしょうか。鉄道総研では、これまでの当たり前であった考えを大きく変えるような鉄道システムを目指して日々の研究開発に取り組んでいます。

本号で特集として取りあげた、「情報を利用した鉄道の利便

性向上」は、世の中にあふれている情報を活用することで、鉄道システムの発展やお客様サービスの向上につながるような、鉄道総研の取り組みを紹介しています。どのような情報をどのように使うのが正しいのかは、場面や対象によって異なるため、その答えは多岐にわたることでしょう。

例えば本号の記事では、鉄道の利便性向上に情報を利用しましたが、次号では、保守の効率化に情報を活用する取り組みを紹介する記事を含めた「鉄道設備保守の効率化」を特集します。これらの記事を通して、皆様がご自身の有効な情報活用方法を見つける一助になれば幸いです。ぜひご期待ください。(K. N.)